

# 令和4年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	理科	国語	数学	理科
3 年	学校	186	76	59	53	2.8	7.6	3.0
	大阪市	—	66	50	46	5.5	12.2	4.4
4月19日	全国	—	69.0	51.4	49.3	4.3	10.8	3.4

### 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	186	60.9	58.9	61.9	63.0	63.9	9.8	3.5	7.2	3.4	4.3
	大阪市	—	53.4	54.7	54.9	55.8	53.7	11.9	4.3	9.4	5.3	6.8
9月6日	大阪府	—	53.8	55.4	56.0	55.9	54.2	12.1	4.6	9.6	5.8	7.1

※ 3年生の理科はC問題を選択

# 令和4年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 調査結果から

### 【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果  
全教科、各領域で大阪市、全国の平均正答率を大きく上回ることができた。

＜特に正答率が高かった領域＞

- ・国語 「読むこと」の領域
- ・数学 「数と式」の領域
- ・理科 「生命」を柱とする領域

＜正答率が低かった問題＞

- ・国語は「資料の一部から必要な情報を引用し、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書く」という問題
- ・数学は「反例の意味」と「問題の解決方法を数学的に説明する」という問題
- ・理科は「静電気の現象」と「実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する」という問題

＜課題＞

いずれの教科においても、学習した内容の知識を基礎として、自分の考えをまとめて記述する問題の正答率が低い傾向がある。この傾向を意識して日頃の授業において改善を図りたい。

○チャレンジテスト(3年)  
全教科、各領域で大阪市、大阪府の平均点を上回ることができた。

＜正答率が高かった問題＞

- ・国語 言葉の特徴や使い方に関する問題
- ・社会 思考・判断・表現が問われる問題
- ・数学 関数に関する問題
- ・理科 エネルギーに関する問題
- ・英語 『書くこと』に関する問題

＜大阪府と比較して正答率が低かった問題＞

- ・国語 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する問題
- ・社会 枚方宿や守口宿に関する会話文に入る適切な語の組み合わせを選ぶ問題
- ・数学 ヒストグラムの階級の幅を求める問題
- ・理科 ニンニクの根の細胞を観察するときに用いる薬品について問われた問題
- ・英語 すべての設問において正答率は上回った

＜課題＞

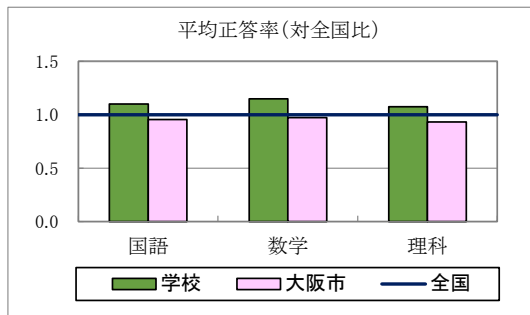
各教科で全体的な正答率は大阪市、大阪府を上回っている。しかし、設問によっては下回っているものもあるので、各教科の授業でその設問の内容を再度、確認する必要がある。

令和4年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

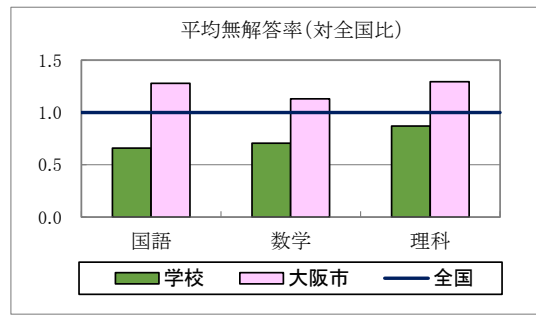
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	76	59	53
大阪市	66	50	46
全国	69.0	51.4	49.3

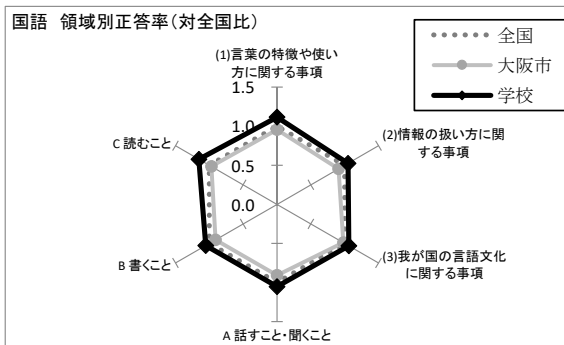
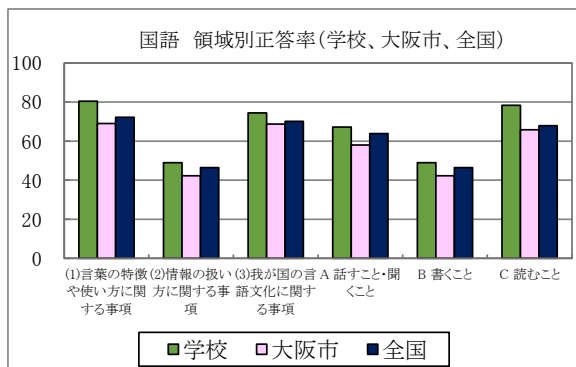


	平均無解答率(%)		
	国語	数学	理科
学校	2.8	7.6	3.0
大阪市	5.5	12.2	4.4
全国	4.3	10.8	3.4



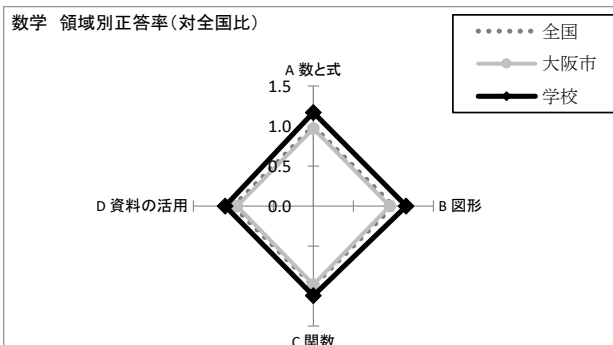
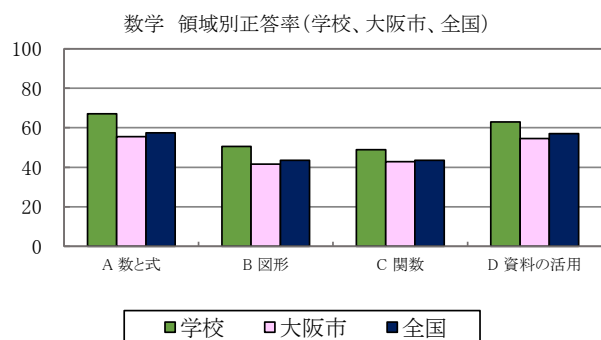
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	6	80.5	69.0	72.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	48.9	42.2	46.5
(3)我が国の言語文化に 関する事項	3	74.5	68.8	70.2
A 話すこと・聞くこと	3	67.2	58.0	63.9
B 書くこと	1	48.9	42.2	46.5
C 読むこと	2	78.4	65.8	67.9



【 数 学 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	67.1	55.5	57.4
B 図形	3	50.6	41.6	43.6
C 関数	3	48.9	42.8	43.6
D データの活用	3	63.0	54.5	57.1



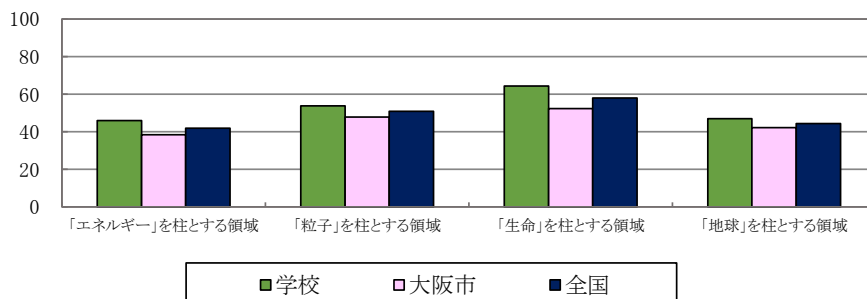
令和4年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

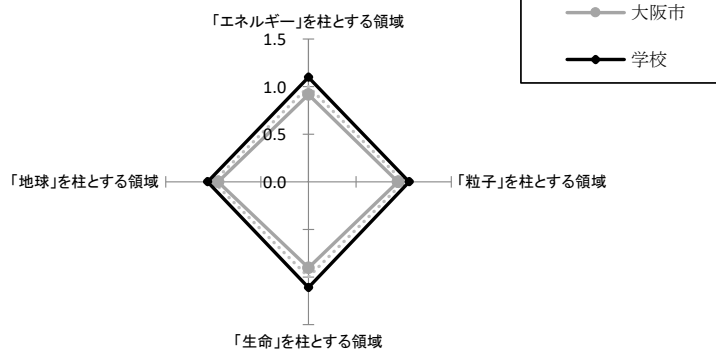
【理 科】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
「エネルギー」を 柱とする領域	6	46.0	38.4	41.9
「粒子」を柱とする 領域	5	53.8	47.8	50.9
「生命」を柱とする 領域	5	64.3	52.3	57.9
「地球」を柱とする 領域	6	47.0	42.1	44.3

理科 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



理科 領域別正答率(対全国比)



# 令和4年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

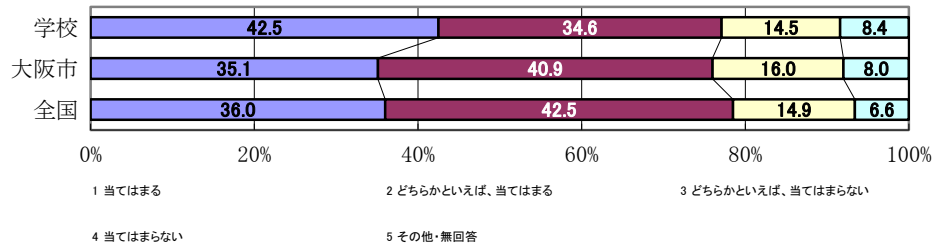
## 生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

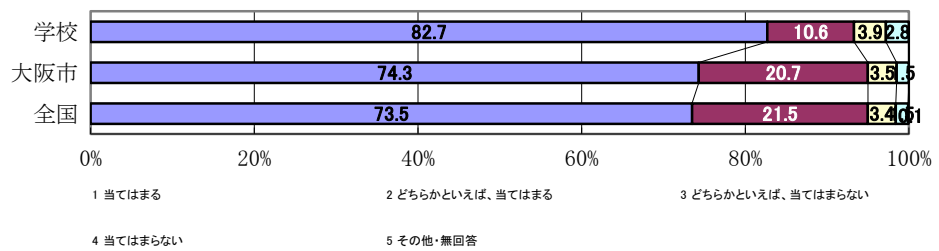
7

自分には、よいところがあると思いますか



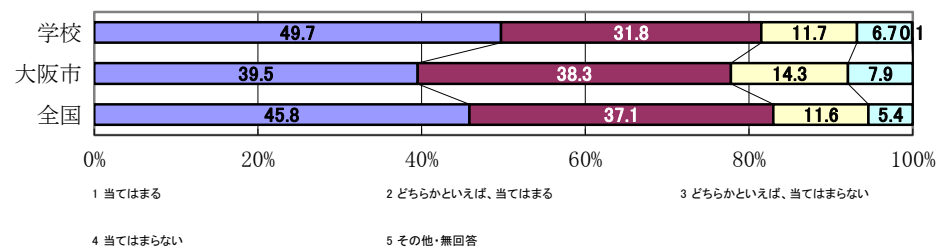
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



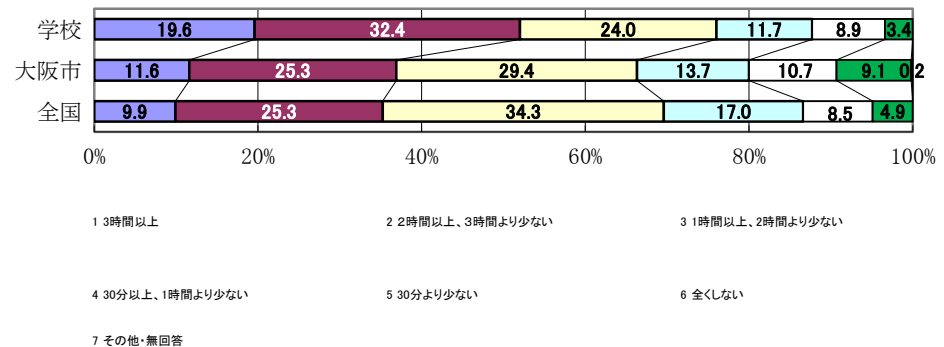
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



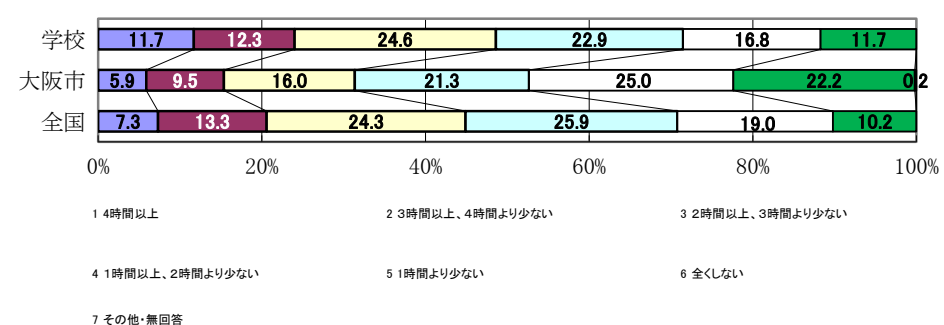
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



# 令和4年度 大阪市立田辺中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

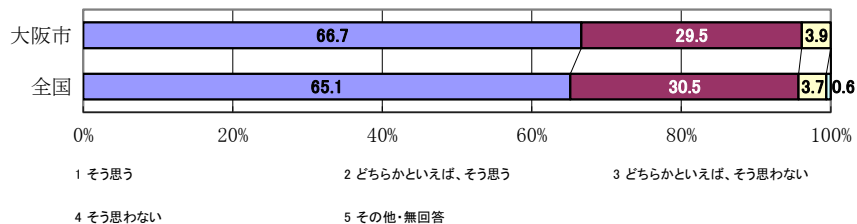
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

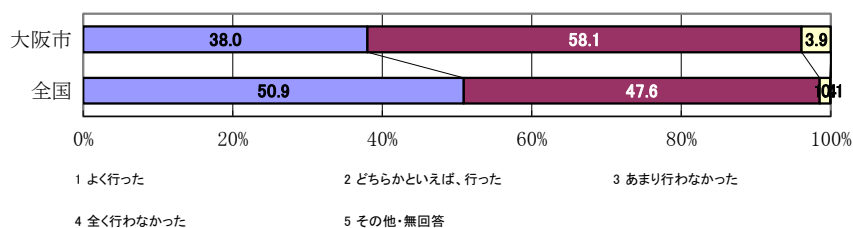
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

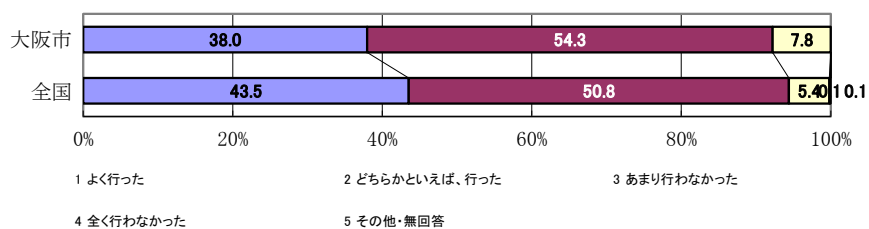
学校 「よく行った」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

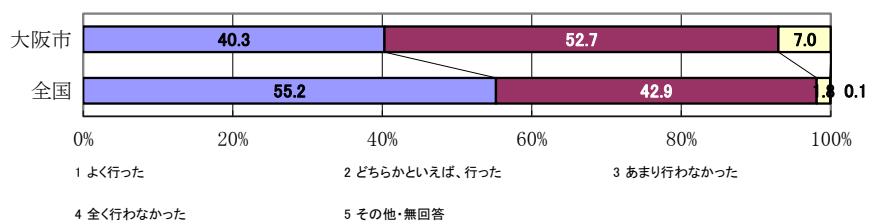
学校 「よく行った」を選択



10

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



11

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

学校 「そう思う」を選択

